

<p>研修名</p>	<p><b>災害・事故時のこころのケア対策事業 専門研修</b> <b>「悲嘆（グリーフ）の理解と対応」</b></p>
<p>講師</p>	<p>神戸赤十字病院 心療内科 部長 村上 典子 氏</p>
<p>開催日時</p>	<p>平成 28 年 11 月 21 日(月) 18:30 ~ 20:30</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市総合保健福祉センター 2 階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>52 名（内訳：行政機関、医療機関、相談支援機関等の職員）</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>大切な人やものを失ったときに体験する、複雑な心理的、身体的、社会的反応である悲嘆（グリーフ）をテーマとした研修を実施した。研修では、悲嘆（グリーフ）の概念や支援を行う上でのポイント、災害時の遺族支援『DMORT』の取り組み等について、事例を交えながら講義形式で学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「悲嘆（グリーフ）」について、包括的に学ぶことができました。震災など大災害のときはもちろん、日常的にもグリーフを理解しておく場面があるように思いました。</li> <li>・豊富な事例を盛り込んだ、充実の研修でした。今後もよく復習して、業務に活かしていきたいと思います。</li> <li>・当事者の語りへの傾聴や寄り添いが大切と思った。ケアする側の押しつけだけでなく、当事者が自分で糸口を掴んでいくことが必要であると実感しました。</li> <li>・遺された方の心の動きや、掛けてよい言葉・避けたほうがよい言葉など、具体的な寄り添い方を教えていただいて、大変参考になりました。</li> <li>・本日の研修はとても分かりやすく、沢山のことが理解できました。同時に、相手の心を傷つけないという思いも湧いてきて、もっと勉強をしたいと思いました。参加させていただいて本当に良かったです。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>